1月27日(火)

神の「セットアップ」する人

聖書朗読 ルカ 3：1～6

その子はあなたにとって喜びとなり楽しみとなり、多くの人もその誕生を喜びます。彼は主の御前にすぐれた者となるからです。彼は、ぶどう酒も強い酒も飲まず、まだ母の胎内にあるときから聖霊に満たされ、

ルカ 1：14～15

野球ファンの方なら、グース・ゴセージまたはマリアノ・リベラと言う名前に聞き覚えがあるかもしれません。二人ともメジャーリーグの投手です。彼らは「クローザー」として有名でした。これは、投手として特別な役目です。クローザーとは試合の最終回にリードしている場合、もしくは相手のチームと互角に渡り合っている際に最後に投げる投手のことです。しかし、通常インニング中かクローザーが登板する前に「セットアップパー」と呼ばれる他の投手が、クローザーが円滑に終了できるように準備をします。セットアップパーの働きはあまり注意が払われることはありません。

ヨハネも御国のために同じような役割を果たしました。ヨハネは神の「クローザー」であるイエス様のために準備しました。ヨハネの生誕は天使ガブリエルによりお告げがあり、それだけに彼は神様から特殊な使命を負って誕生したように思われます。それなのにヨハネの働きはとても短く、突然終わってしまいます。しかし御国の価値観では、貢献の大切さはいかに長い期間続いたかではなく、その内容の濃さではないでしょうか。ヨハネは十分に役目を果たしました。ですから、イエス様も『女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネよりすぐれた人は出ませんでした。』（マタイ11：11）とされています。

讚美歌 332

祈り 神よ。私たちはこの世でどれだけの期間お仕え出来るか知りません。しかし、それが長かろうと短かろうと、あなたに喜んで頂けますように。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

デイビッド・ラングフォード
テキサス州 ラボック

1月28日(水)

良き隣人

聖書朗読 ルカ 10：25～37

この三人の中でだれが、強盗に襲われた者の隣人になったと思いますか。」彼は言った。「その人にあわれみをかけてやった人です。」するとイエスは言われた。「あなたも行って同じようにしなさい。」

ルカ 10：36～37

私が初めて善いサマリヤ人の話を聞いた時、傷を負った人が居るのに、祭司もレビ人も助けずに行ってしまったなんて想像出来ませんでした。通りがかったサマリヤ人は自分で傷を負った人の手当をし、その後彼の介抱するように宿にお金を払いました。

私の韓国人の友人によると、東洋文化の中にはけがをした人を助けた人が、その人とさらにその家族を含め、責任を持つと考える習慣もあるそうです。もしかしたら、祭司とレビ人は単純にお金も時間もなかっただけかもしれません。その一方でサマリヤ人は部分的に面倒をみることも出来たのに、最初から全ての責任を取りました。彼が慈悲を表し、善きサマリヤ人であったことを法律の専門家も認めないわけにはいかなかったのです！

イエス様はこの例え話の締めくくりに、法律の専門家と私たちに忠告しています。『行ってあなたも同じようにしなさい』（ルカ10：37）。私たちは支払い能力があるかどうかに関わらず、そう出来るでしょうか？

讚美歌 312

祈り 親愛なる神よ。私たちに取っての善きサマリヤ人になって下さりありがとうございます。あなたの慈悲の心と寛大さを、私たちを通して伝えられますように。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ジョイス・ハーディン
テキサス州 オースティン

1月29日(木)

あなたのためのお時間、ありますよ

聖書朗読 ルカ 10:38~42

ところが、マルタは、いろいろもてなしのために気が落ち着かず、みもとに来て言った。「主よ。妹が私だけにおもてなしをさせているのを、何ともお思いにならないのでしょうか。私の手伝いをするように、妹におっしゃってください。」

ルカ 10:40

あなたはマリヤの姉のマルタのようですか？ 忙しく、いろいろな邪魔が入りやすく、急いでいて、疲れていますか？ やることがいっぱいあるのに、時間や気力がないと感じていますか？ 予定が一杯過ぎて「ごめんなさい、疲れていて」や「時間がないのです」と言い訳していませんか？

あなたが誰かにあげることが出来るギフトで、最も貴重なものは時間だとご存じでしたか？ なぜでしょうか？ なぜなら、誰かのために時間を使うことは、あなた自身をあげているのと同じ意味だからです。

ヨハネの福音書4章にあるイエス様とサマリヤの女性との対話の箇所を今一度読んでみましょう。『イエスは旅の疲れで、井戸のかたわらに腰をおろしておられた』(6節)。やっとイエスは休憩を取られたのです。そこへサマリヤの女がやって来たのです。イエス様はお疲れになっていたにも関わらず、『水を飲ませてください』(6節)というちょっとしたお願いをすることにより、この女性との大変意義のある会話を始められました。イエス様は疲れていましたが、彼女のために時間を割いたのです。

私たちが疲れていようとも、イエス様のように「あなたのためのお時間、ありますよ」と答えたいものです。

讃美歌 391

祈り 父よ。慌ただしい日々の中で、どうぞあなたを思い出させて下さい。喜んで捧げられる者で居られるようお助け下さい。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ベン・マレンヌ

テキサス州 アマリロ

1月30日(金)

神よ、私の信仰を強めて下さい

聖書朗読 ルカ 17:1~6

使徒たちは主に言った。「私たちの信仰を増してください。」 ルカ 17:5

これは全てのイエス様の弟子の叫びです。なぜなら、イエス様の完璧さに対し、私たちは不十分だと感じるからです。イエス様と一緒に歩いた弟子は、自分達の罪の重さを身に染みて感じたのです。弟子達はイエス様が人々を癒す姿を見た時、無力さを感じました。たとえ赦されない存在であろうと、イエス様はお赦しになると聞いていました。イエス様が嵐と共におられるのを、弟子たちは混乱の中で見ました。イエス様は嘆いている弟子たちを慰められました。

弟子たちは彼ら自身で立ち向かいながらも、人生で一番厳しい質問についての議論を聞いていました。弟子たちには、他者に対し偏見を持ってしまったり他者を差別してしまうという彼ら自身の弱さがありました。一方イエス様は、社会からのけ者にされた者、虐げられた者達をいつも気にかけていました。イエス様は良い知らせを告げられ、何年もの間捕らわれの身になっていた者達を解放し、家族を元の状態に戻し、セカンドチャンスを通して希望を与えられました。イエス様は群衆を養い、さらに霊的な意味でのパンをもお与えになりました。

イエス様は善き羊飼いで、オオカミの群れの中で危ない思いをしている者を連れ戻して下さいました。人生を生きて行く中で、見失ったり、疑ったりすることもあります。しかし、そんな時こそ「私の信仰を強めて下さい」と叫びましょう。

讃美歌 280

祈り 父よ。私自身ではなくあなたを信じるよう思い起こさせて下さい。良い時も悪い時も私の信仰を強めて下さい。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ボブ・メイズ

テキサス州 ラボック

1月31日(土)

小さい者から大きな者へととなった人

聖書朗読 ルカ 19:1~10

しかし主はサムエルに仰せられた。「彼の容貌や、背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、主は心を見る。」
Iサムエル 16:7

英語の子ども讚美歌に「ザアカイは小さい人、小さい人だった」と言う歌詞の歌があります。歌詞の全体の内容には納得する部分もあったでしょう。ザアカイの身長の高さや、誠実さの不足について同感する部分があるかもしれません。しかし、私たちは本当の彼の心を知ることは出来たでしょうか？

イエス様はザアカイの心をご覧になり、「今日は、是非あなたの家に泊まりたい」と言われました。徴税人であったザアカイは、不誠実な人と沢山のの人に思われていました。

この小さい者の態度について考えてみましょう。ザアカイは背が低かったため、木に登ってイエス様の御姿を見ようとしてしました。彼は不適切な徴収をしてしまった人に対して償うと誓いました(参照:出エジプト記22:12の規定による償い)。彼は誰かを欺いたことについては認めませんでした。間違いを犯したことは認めました。ザアカイは公然と神に従う意思を表明したのです。彼の霊的な成長は著しく、イエス様の御姿を見ようと上っていた木の高さをも越えました。ザアカイは誰から見ても正しいことをしたかっただけなのです。アブラハムの子孫として恥じない行いをしたいと思っていました。

ザアカイはただの小さい者ではなく、霊的には大きな者でした。

讚美歌 249

祈り 父よ。私たちが間違いを犯してもどうぞお赦し下さい。誠実に生きていけるようどうぞお助け下さい。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ペニー・ニコルズ

テキサス州 オデッサ

2月1日(日)

未亡人の精一杯の寄付

聖書朗読 ルカ 21:1~4

このように労苦して弱い者を助けなければならないこと、また、主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです。」
使徒 20:35

約22年もの間、私はルーマニアへの宣教旅行へ行っています。この旅行は家族や友達の寛大な心により、宣教するに当たり必要なもの、また宣教師たちの旅費もまかなわれています。私たちの教会に在籍する90歳の女性が協力を申し出ました。しかし、彼女は生活保障費により生活していて、決して余裕があるわけではありません。ルーマニアへ行ったこともないし、残念ながらこれからも行く機会はないでしょう。彼女は特別に財産を大幅に増やす術を知っている訳ではありませんでしたが、協力したいと思ったのです。

そこで、彼女は彼女なりに出来ることをやろうと決めました。それは、どんな天気であろうと杖を使い近所を毎日歩くことでした。その際、道端に落ちている小銭を探し、見つけたら大事にハンカチに包み、持ち帰りました。彼女は毎日それを続け、持ち帰った小銭は瓶に貯めました。ただただ、ルーマニアの人々にイエス様のことを知ってほしい！との思いからの行動でした。私たちが旅立つ前に彼女は瓶に入った小銭をお札に両替しました。毎年、定期的に彼女は20~30ドルを下さいます。全ては彼女のイエス様のことを知って欲しいとの思いからの行動です。

讚美歌 第二編 26

祈り 神よ。彼女のような心を持った人を、どうぞ気にかけて下さい。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

マイケル・モス

ウエストバージニア州 パーカスバーグ